

2017 年 5 月 3 日

組合員様へご報告

## 「電気事業開始に関する記者発表会」

組合員サービス課  
澁谷 賢 司

2017 年 4 月 10 日（月）、13：30～コスモス館組合員集会室におきまして、青森県初となる県域の小売電気事業者「青森県民エナジー㈱」の事業開始と“あおり県民でんき”の販売についての記者発表が行われました！

# 『青森県民エナジー株式会社』の設立と “あおり県民でんき”の取り扱いについて

青森県で初めてとなる県全域を対象とした小売電気事業者を目指す『青森県民エナジー株式会社』が年明けの元日に設立されました。

青森県民エナジー株式会社は、青森県民生活協同組合（青森市：理事長 平野了三）と県内で風力や太陽光発電を進めている未来エナジーホールディングス㈱（八戸市：代表取締役 富岡敏夫）の出資によって作られた青森県内資本100%の地域エネルギー会社です。

青森県民生活協同組合は同社の取次店となって、生協の組合員向けの電力契約「コープのでんき＝あおり県民でんき」のブランドで電力販売を行うことにしています。

また、青森県民エナジー株式会社では、県内の事業所などの高圧の顧客について切替を進めていき、合わせて電力の地産地消を通じた経済の循環と地域活性化の実現を目指していきます。

高圧は  
**7月1日**  
より

3つの  
地域貢献

- ①100%地元の民間エネルギー供給会社の設立をします。
- ②青森県の再生エネを利用した「エネルギーの地産地消」を目指します。
- ③地域に貢献する安心な電力の提供をします。



挨拶をする平野理事長



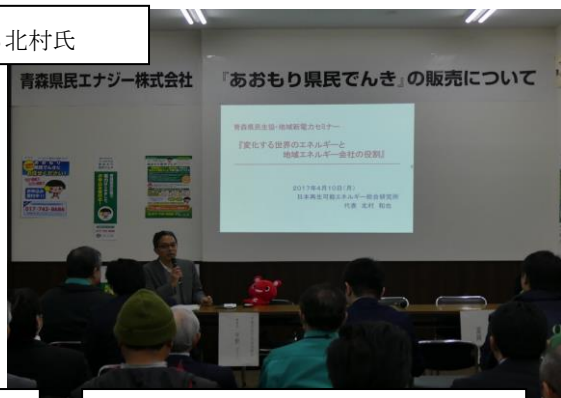
多数の報道陣が訪れました！



当日は多数の報道陣が訪れました！記者発表の後には、日本再生可能エネルギー総合研究所代表の北村氏による「変化する世界のエネルギーと地域エネルギー会社の役割」と題して、組合員へ向けたセミナーが開催されました。



説明をする北村氏



多数の組合員さんがセミナーに参加されました！

コーすけとラブコも応援しました！



第45186号 (第三種郵便物認可)

電力小売り事業への参入を  
発表する富岡代表取締役

電力小売り事業への参入を  
発表する富岡代表取締役

## 八戸の「県民エナジー」

# 家庭向け電気販売へ

### 県内資本初目標は5千世帯

八戸市の新電力会社「青森県民エナジー」(富岡敏夫代表取締役)は10日、県民生協(青森市)組合員など一般家庭向けに6月から電気販売を行うと発表した。県内の再生可能エネルギーを活用した「電力の地産地消」を掲げ、約5千世帯への供給を目指す。県内資本の新電力が県内全域を対象に電力小売り事業に参入するのは初めてという。(山本光)

同社は、2016年4月インクス(八戸市)の出資によって今年1月に設立した。

電気料金は、一般家庭向けの基本料金を東北電力と同額、使用した分の「従量料金」を東北電力よりも3%安く設定。5月1日から契約切り替えの予約を開始し、一般家庭への電力供給は6月1日を予定。企業など事業者にも7月1日から供給する予定だ。

県民エナジーによると、販売する電気は、大間町の市民出資型風力発電用風車で発電した電力など県内の多様な再生可能エネルギー

で全体の2〜3割以上を賄い、電力を安定供給するため東北電力などからも調達するとしている。

10日、青森市の県民生協コスモス館で事業を説明した同社の富岡代表取締役は「地元で生産した再生可能エネルギーを利用するという選択肢を提供できる。県民の皆さんの期待に応えたい」と意気込みを語った。

東奥日報に掲載されました！  
また、当日の夕方のTVニュースにも取り上げられました！！